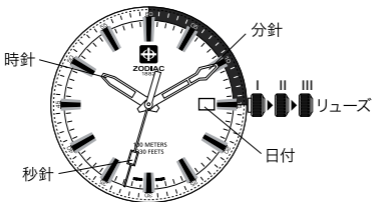


# 日本語

## 3針 日付つき

(モデル 715) (日付つき自動巻きムーブメント STP1-11)



### 時刻を設定する

1. リューズを III の位置まで引き出します (時計は停止します)。
2. リューズを回して正しい時刻に合わせます。
3. リューズを I の位置まで押し戻します。

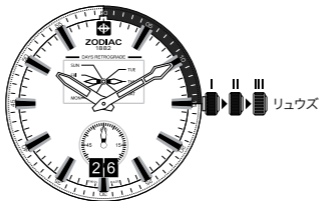
### 日付を設定する

1. リューズを II の位置まで引き出します (時計は動作を継続します)。
2. 前日の日付が表示されるまでリューズを回します。
3. リューズを III の位置まで引き出します (時計は停止します)。
4. 前日の日付が表示されるまでリューズを回します。
5. さらに正しい時刻が表示されるまでリューズを回します。
6. リューズを I の位置まで押し戻します。

午後10時から午前2時までの間は、日付の自動変更機能が作動しているため、日付を変更しないで下さい。無理に変更すると故障の原因となります。

# デイスイープ付きレトログラード

(Ronda 7004.N)

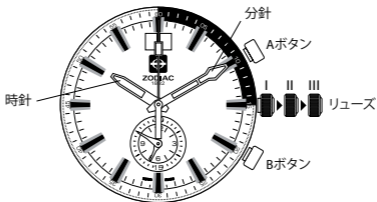


## ウィークデイ設定、日付と時刻設定

1. 最初にリュウズをIの位置で回して緩めます。
2. リュウズをIIIの位置まで引き出します。
3. リュウズを時計回りに回して、前日の曜日に設定します。
4. リュウズをIIの位置まで引き出します。
5. 今日の日付が表示されるまでリュウズを反時計回りに回します。
6. リュウズをIIIの位置まで引き出します。
7. 日付ウィンドウに正しい日付が表示されるまで針を時計回りに回します。
8. リュウズを時計回りに回し続けて、正しい午前/午後の時刻を設定します。
9. リュウズをIの位置に戻します。
10. リュウズを内側にねじ込みます。

# クロノグラフ 1 ビッグデイト

(モデル 5010.B)



## 時刻の設定

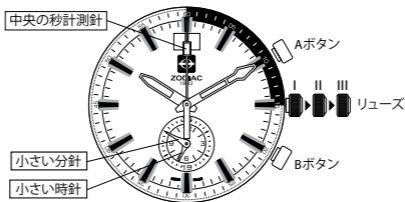
1. リューズをIIIの位置まで引き出します(時計は停止します)。
2. リューズを回して正しい時刻に合わせます。
3. リューズをIの位置まで押し戻します。

## 日付の設定

1. リューズをIIの位置まで引き出します(時計は動作を継続します)。
2. 前日の日付が表示されるまでリューズを回します。
3. リューズをIIIの位置まで引き出します(時計は停止します)。
4. リューズを回して正しい日付に合わせます。
5. さらに正しい時刻が表示されるまでリューズを回します。
6. リューズをIの位置まで押し戻します。

## クロノグラフ

- ・ クロノグラフの時カウンターは1周あたり12時間を計測し、分カウンターは1周あたり30分を計測します。
- ・ 中央の計測秒は、1周あたり60秒を計測します。



### 注意:

クロノグラフ機能をご使用いただく前に、以下をご確認ください。

- リューズが I の位置にあること (通常の位置)。
- Bボタンを作用させた後に、2つのクロノグラフ針がゼロにぴったり合っていること。そうでない場合は、針の位置を調整する必要があります。これについては「クロノグラフの針をゼロに合わせる」の項を参照してください。

## クロノグラフ:基本的な機能 (スタート / ストップ / リセット)

1. Aボタンを押して中央の秒計測針をスタートさせます。
2. 計測をストップするには、Aボタンを再び押します。
3. 2つのクロノグラフの針をゼロにリセットするには、Bボタンを押します。

## クロノグラフ:途中経過または間隔を計測する

1. Aボタンを押して中央の秒計測針をスタートさせます。
2. Bボタンを押すと針が止まり、間隔が表示されます。

注意:クロノグラフの針が止まっても、時計は継続的に作動してその時点の計測値を記録します。

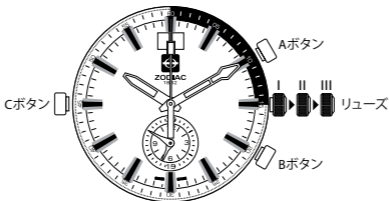
3. 計測結果を補整する:  
Bボタンを再び押すと、2つのクロノグラフの針が実行中の計測時間まで素早く進みます。  
間隔の記録を継続するには、Bボタンを押し続けます。
4. Aボタンを押してストップすると、最終の時間が表示されます。
5. 2つのクロノグラフの針をゼロにリセットするには、Bボタンを押します。

## クロノグラフの針をゼロに合わせる

1. リューズをIIIの位置まで引き出します(2つのクロノグラフの針すべてが正しいゼロの位置にある場合も誤ったゼロの位置にある場合もあります。)
2. AボタンとBボタンを同時に少なくとも2秒間押し続けます(矯正モードが作動し、中央の秒計測針が360度回転します。)
3. Aボタンを押して中央の秒計測針を一段階進めます。Aボタンを押し続けると、中央の秒計測針が早く進みます。
4. Bボタンを押して、次の針へと進みます。
5. Aボタンを押して、分カウンターの針を一段階進めます。Aボタンを押し続けると、分カウンターの針が早く進みます。
6. リューズをIの位置へ戻します。

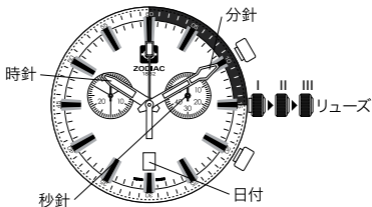
## ライト機能 (ライト機能付きモデルのみ)

1. ケース左側にあるCボタンを押します。
2. Cボタンから手を離すと、ライトが約5秒間点灯します。
3. 約5秒経つと自動的に消灯します。



## クロノグラフ 2 インダイアル

(モデル 5021.D)



### 時刻を設定する

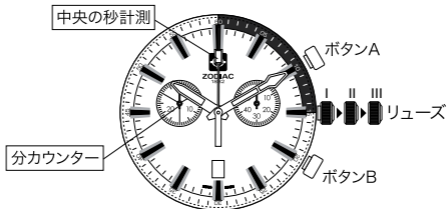
1. リューズを III の位置まで引き出します (時計は停止します)。
2. リューズを回して正しい時刻に合わせます。
3. リューズを I の位置まで押し戻します。

### 日付を設定する

1. リューズを II の位置まで引き出します (時計は動作を継続します)。
2. 前日の日付が表示されるまでリューズを回します。
3. リューズを III の位置まで引き出します (時計は停止します)。
4. 前日の日付が表示されるまでリューズを回します。
5. さらに正しい時刻が表示されるまでリューズを回します。
6. リューズを I の位置まで押し戻します。

### クロノグラフ

- ・ 分カウンタは、1 周あたり 30 分を計測します。
- ・ 中央の秒計測は、1 周あたり 60 秒を計測します。



注意:

クロノグラフ機能をご使用いただく前に、以下をご確認ください。

- リューズが I の位置にあること (通常の位置)。
- B を押した後は、2 つのクロノグラフ針がゼロにぴったり合っていること。そうでない場合は、針の位置を調整する必要があります。これについては「クロノグラフの針をゼロに合わせる」の項を参照してください。

### クロノグラフ: 基本的な機能 (スタート/ストップ/リセット)

1. A を押して中央の秒計測針をスタートさせます。
2. 計測をストップするには、A を再び押します。
3. 2 つのクロノグラフの針をゼロにリセットするには、B を押します。

### クロノグラフ: 途中経過または間隔を計測する

1. A を押して中央の秒計測針をスタートさせます。
2. B を押して、クロノグラフをストップします。

注意: クロノグラフの針が止まっても、時計は継続的に作動してその時点の計測値を記録します。

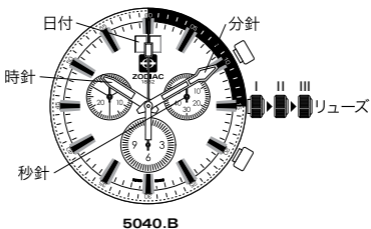
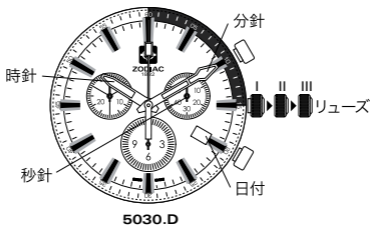
3. 計測結果を補整する:  
B を再び押すと、3 つのクロノグラフの針が実行中の計測時間まで素早く進みます。  
間隔の記録を継続するには、B を押し続けます。
4. A を押してストップすると、最終の時間が表示されます。
5. 2 つのクロノグラフの針をゼロにリセットするには、B を押します。

### クロノグラフの針をゼロに合わせる

1. リューズを III の位置まで引き出します (2 つのクロノグラフの針は正しいゼロの位置にある場合も誤ったゼロの位置にある場合もあります)。
2. A と B を同時に少なくとも 2 秒間押し続けます (矯正モードが作動し、中央の秒計測針が 360 度回転します)。
3. A を押して中央の秒計測針を一段階進めます。A を押し続けると、中央の秒計測針が早く進みます。B を押して、次の針へと進みます。
4. A を押して、分カウンターの針を一段階進めます。A を押し続けると、分カウンターの針が早く進みます。
5. リューズを I の位置へ戻します。

## クロノグラフ 3 インダイアル

(モデル 5030.D / 5040.B)



### 時刻を設定する

1. リューズを III の位置まで引き出します (時計は停止します)。
2. リューズを回して正しい時刻に合わせます。
3. リューズを I の位置まで押し戻します。

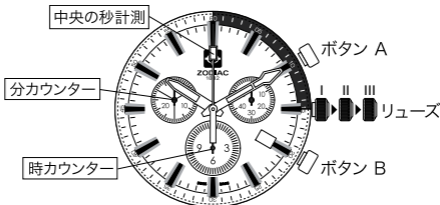
### 日付を設定する

1. リューズを II の位置まで引き出します (時計は動作を継続します)。
2. 前日の日付が表示されるまでリューズを回します。
3. リューズを III の位置まで引き出します (時計は停止します)。
4. 前日の日付が表示されるまでリューズを回します。
5. さらに正しい時刻が表示されるまでリューズを回します。
6. リューズを I の位置まで押し戻します。



## クロノグラフ

- ・ クロノグラフの時カウンターは、最高 12 時間まで計測できます。
- ・ 分カウンターは、1 周あたり 30 分を計測します。
- ・ 中央の計測秒は、1 周あたり 60 秒を計測します。



### 注意:

クロノグラフ機能をご使用いただく前に、以下をご確認ください。

- リューズが I の位置にあること(通常的位置)。
- B を作動させた後に、3 つのクロノグラフ針がゼロにぴったり合っていること。そうでない場合は、針の位置を調整する必要があります。これについては「クロノグラフの針をゼロに合わせる」の項を参照してください。

## クロノグラフ:基本的な機能

### (スタート/ストップ/リセット)

1. A を押して中央の秒計測針をスタートさせます。
2. 計測をストップするには、A を再び押します。
3. 3 つのクロノグラフの針をゼロにリセットするには、B を押します。

## クロノグラフ:途中経過または間隔を計測する

1. A を押して中央の秒計測針をスタートさせます。
2. B を押して、クロノグラフをストップします。  
注意:クロノグラフの針が止まっても、時計は継続的に作動してその時点の計測値を記録します。
3. 計測結果を補整する:  
B を再び押すと、3 つのクロノグラフの針が実行中の計測時間まで素早く進みます。  
間隔の記録を継続するには、B を押し続けます。
4. A を押してストップすると、最終の時間が表示されます。
5. 3 つのクロノグラフの針をゼロにリセットするには、B を押します。

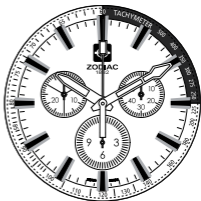
## クロノグラフの針をゼロに合わせる

1. リューズを III の位置まで引き出します(3 つのクロノグラフの針すべてが正しいゼロの位置にある場合も誤ったゼロの位置にある場合もあります)。
2. A と B を同時に少なくとも 2 秒間押し続けます(矯正モードが作動し、中央の秒計測針が360 度回転します)。
3. A を押して中央の秒計測針を一段階進めます。A を押し続けると、中央の秒計測針が早く進みます。B を押して、次の針へと進みます。
4. A を押して時カウンターの針を一段階進めます。A を押し続けると、時カウンターの針が早く進みます。B を押して、次の針へと進みます。
5. A を押して、分カウンターの針を一段階進めます。A を押し続けると、分カウンターの針が早く進みます。
6. リューズを I の位置へ戻します。

## タキメーターの使用法

タキメーター(Tachymeter)機能を使用すると、一定距離の時速を計測することができます。時計のトップリングや内部ベゼルの刻印された目盛りを利用してkm/時、マイル/時等の単位で速度を算出できます。

車の速度を測定する場合の使用例：秒針が12:00(60秒の位置)を指していることを確認して、車が最初のkm(またはマイル)測定ポイントを通過すると同時に測定を開始します。車が1 km(またはマイル)走るのに要した時間36秒とすると、その車は時速100 km(マイル)で走行したことが分かります。



## 自動巻機能

自動巻機能付きの時計は手首の動きに反応して機械が必要なパワーを得るため、手首のサイズに合わせて時計のバンドを調整して下さい。バンドのサイズが緩いと、時計の自動巻機能が適正に作動しない可能性があります。フル巻上げの状態では、約42時間動き続けます。42時間以上時計を装着しなかった場合は、手動で巻き上げて必要なパワーリザーブを確保して下さい。

## 防水機能

Zodiac時計にはすべて10気圧以上の防水機能がついています。

防水機能は、ほこりや湿気、水にさらされることで発生する故障のリスクから時計を保護します。

一覧表をご参照のうえ、各防水レベルに適した使い方をしてください。

水に濡れている状態で時計のリューズを引き出すことはお避けください。水分がケース内に浸入し、故障の原因となります。

ねじ込式リューズがついている時計については、水に濡らす前にリューズがしっかりとねじ込み固定されていることを確認してください。

クロノグラフ機能付きの時計については、水中でクロノグラフを操作しないでください。水分がケース内に浸入し、故障の原因となります。

## 防水機能について

| 耐水性    |                  | 使用例   |   |   |   |
|--------|------------------|---|---|---|---|
| 裏面の表示  | 深度               |  |  |  |  |
|        |                  | 手洗い   | シャワー<br>入浴  | 水泳 シュノーケル<br>リング  | スクーバダイ<br>ビング   |
| —      | —                | X   | X   | X   | X   |
| WR     | —                | O   | X   | X   | X   |
| 3 ATM  | 3バール<br>30メートル   | O   | X   | X   | X   |
| 5 ATM  | 5バール<br>50メートル   | O   | O   | X   | X   |
| 10 ATM | 10バール<br>100メートル | O   | O   | O   | X   |
| 20 ATM | 20バール<br>200メートル | O   | O   | O   | O   |
| 30 ATM | 30バール<br>300メートル | O   | O   | O   | O   |
| 50 ATM | 50バール<br>500メートル | O   | O   | O   | O   |

◆ 50M/165FEET/5ATM 防水は洗顔、手洗い等、日常生活における多少の水しぶきに耐えられる防水特性を備えております。  
 使用時は下記にご注意下さい。

- リュウズは常に通常位置に設定してください。
- 温水はパッキンを変質させて浸水原因になりますので、シャワー・お風呂(サウナを含む)等での使用はお避けください。
- クロノグラフ(ストップウォッチ)及びボタン機能付きの時計を水中に使用されますと水圧により浸水することがありますので、水中でのボタン操作はお避けください。

※1 蛇口およびシャワーの水流は、100M/330FEET/10ATM以上の圧力がかかる事がございますので、洗顔や手洗いの際はお気を付け下さい。

※2 100M/330FEET/10ATMの防水は、水泳可能ですが使用状況によって浸水する可能性がありますのでご注意ください。

## お手入れの方法と取扱上の注意

Zodiacは設計、製造ともに最高水準の時計です。時計は他の機械製品と異なり休むことなく動いています。大切な時計がいつまでも時を刻み続けることができるよう、以下のお手入れ方法と取扱上の注意を守って正しくお使い下さい。

### お手入れの方法

日常のお手入れは、湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取るようにし、絶対に水に浸けたりしないでください。海などで塩水にさらされた場合は、きれいにすすいでから乾いた布で拭き取ってください。メタル・バンドを長くきれいに保つためには定期的にバンドのお手入れをしてください。ぬるめの石鹸水に柔らかいブラシを浸し、バンドを優しくこするようして汚れを落として下さい。時計の状態を最適に保ち、長くご使用いただくには1年半～2年ごとに点検にだされることをお勧めします。

### 取扱上の注意

時計は熟練した職人によってさまざまな部品が複雑に組み立てられた製品です。取扱方や環境によっては、時計が成城に機能しなくなる場合がありますので、以下の注意に従って、正しく使用して下さい。

極端に高温または低温となる場所、長時間直射日光に当たる場所、防水機能レベルを超えた状態での使用(ケース裏ボタンおよび一覧表を参照)等はお避け下さい。水中でボタン操作を行ったり、リューズを引き出したりしないでください。

時計がテレビやステレオなどの家電製品から発生する磁界に影響されることはほとんどありません。ただし、強力な電界や静電気は、時計の内部メカニズムに影響を及ぼす可能性がありますのでなるべく避けて下さい。また、時計を落としたり、強い衝撃を与えることもお避け下さい。